



議会だより

北栄



参加者いっぱい

出前座談会

2

行革 報告まとまる

3

町政 ここを問う

6



行政改革 特別委員会

報告まとまる!!

平成23年12月20日、「行政サービスと町民負担のあり方の必要性を考慮し、効率的で住民から信頼される行政を推進する」として委員会を設置。実態調査をもとに延べ20回の協議が行われ、平成24年12月18日に池田委員長から議長に報告書が提出されました。

**具体化に向け
検討を**

町民の所得格差、財政、教育問題、基幹産業の低迷など問題解決のため、委員一丸となり調査・検討を行った結果の報告である。



阪本 委員

**北栄町の
将来を思い
町づくりに関わる
全ての者が、信頼し
あえることが大切。
家族を作り、幸せ
になる努力を。**

**北栄町の
将来を思い**

町づくりに関わる全ての者が、信頼しあえることが大切。家族を作り、幸せになる努力を。

**改革の思いを
常に持ち**

何が町民の期待と要望に沿えるのか。まずは、同和対策事業を一般事業に編入し、最終に向かう努力と感じている。



石丸 委員

**「活力のある
小さな自治体」**

行革を推進するには、経営的発想のもと危機感を持つて取り組む必要がある。本町の成長戦略である、産業振興、子育て・教育、特色のある町づくりを期待する。

5年後の北栄町を

一人の委員として、現在、そして将来の北栄町をしつかりと見極め、成長分野は子育て・教育・産業振興と考える。

**財源を住民サービスに
役割を完了した同和対策
を終結すべき。**

給食・保育は公の責任

民営化の推進は、公的責任の放棄につながる。食育を担い、安全な給食を提供する調理員は重要。



長谷川 副委員長

**町民のための
行政サービス**

補助金・負担金など見直しが必要。事務分担の点検・業務の効率化で、職員の適正な定数管理を行い、税金の無駄遣いをしないこと。

**町民のための
行政サービス**

補助金・負担金など見直しが必要。事務分担の点検・業務の効率化で、職員の適正な定数管理を行い、税金の無駄遣いをしないこと。

委員報告の全文はHPをご覧ください。

(まとめ)
北栄町を発展させるためには、町民への行政サービスと負担を考慮した上で、行政が直接かわる業務、民間に委ねた方がいいものと考え、大胆な歳出削減が求められます。
先人が築き上げられた優良農地を活用した産業の振興をはじめ、子育て、教育による特色を打ち出し、本町は子育てしやすい教育の町だと言われる位置づけにより、若者が定住したい町にしてはと考えます。

- 1 補助金について**
 - ・効果を検証したうえで、大胆な見直しと抑制
 - ・受益団体の自立を推進
 - 2 負担金について**
 - ・組織の負担金は、受益と負担を検証し、今後の必要性、役割を検討
 - 3 行政運営について**
 - ・職員は「町民の奉仕者」の意識を持つ
 - ・職員の企画立案能力を高め、業務の効率化を図る
 - ・中部一円で一般競争入札を実施
 - ・庁舎統合する場合は、住民の理解を十分に得る
 - ・同和対策事業を終結し、一般施策へ移行
 - ・青山剛昌ふるさと館の経済効果等を検証
 - ・子育て世代の負担軽減。
 - 4 民間活力の導入**
 - ・こども園及び保育所、上下水道、給食センター
 - 5 関係団体について**
 - ・町消防団は火災対応から総合防災対応へシフト
 - ・農業委員会委員の定数検討
 - ・鳥取県中部町土地開発公社は解散
- 今回は、平成18年の委員会報告を検証し、修正加筆するとともに、予算削減だけでなく、町民サービスの向上も検討されました。
- 提言事項 (抜粋)**

議会へ

- 一般質問へのご意見**
- 1 テーマごとにまとめた質問の方がいい。
 - 2 内容を充実させて、満足感のあるものに。
 - 3 町長を糾弾しているだけに見える。

- 1 規則で、届け出順で行うと決まっています。関連質問*は認められていません。
 - 2 議員の資質を高め、分かり易く充実した質問に努めます。
 - 3 規則にのっとり、注意指導します。
- * 質問事項に関連して、他の議員が質問を行うこと。



国坂浜自治会の様子

**出前座談会
参加者
いっぱい**

通算、6回目となる出前座談会は、北尾・米里・国坂浜で開催し、延べ80人の方にお越しいただきました。終了時間をオーバーするなど、活発なご意見ありがとつございました。来年度希望される自治会は、ぜひお早めの申し込みを！

グリーンツーリズムと全町公園化構想

・町全体でムード作りが必要。進捗状況を周知して欲しい。

現在、グリーンツーリズム研究会が組織されているが、受入実績はない。来年度は、民泊体験や農業体験の実施を期待している。

投票区の見直し

- 1 投票率が下がるのでは。
 - 2 高齢者や交通弱者など、配慮はされたのか。有権者の意見を聞いて判断したのか。
- 1 期日前投票制度で、投票機会は確保されている。
 - 2 有権者数の適正化・投票所規模の確保・経費削減などを主眼に総合的に検討した。

不法投棄

・米里地区の不法投棄物の撤去を。汚染防止などの対策を。

投棄者の撤去が原則。今年度は産廃協会のボランティア・自治会・職員(県・町)で実施したが、残りの撤去・汚染防止対策は自治会で。

防災訓練

・町全体で一体的な実施を。(一斉訓練で初めて分かることもある)

関係組織と一体となった取り組みは必要だが、津波・洪水・地震など、種類に応じて自治会単位や町全体での訓練に取り組む。

A E D

- 1 希望自治体には設置を。
 - 2 設置場所の周知を。
- 1 各公民館への設置は各自治会の判断。
 - 2 施設入口に表示している。(町HPに設置公共施設一覧あり)

町長へ

町長通知及び回答の詳細内容はHPをご覧ください。

質疑あれこれ

12月7日から18日にかけて12月定例会が行われ、11議案すべて可決しました。

条例

監督できるか？

水道工事監督者の資格基準

問 石丸美嗣

工事を管理監督できる資格を持った職員数は。

答 飯田地域整備課長

技術管理者は現在2人。取得中が1人。

誰を任命する？

防災会議条例

問 飯田正征

町長がメンバーに任命する3人の想定は。

答 別本総務課長

自主防災組織の代表や防災士などの有資格者。

設備更新も適用を

産業振興奨励条例

問 井上信一郎

単なる機械更新を除くとしたのはなぜか。今までに条例の適用になった数は。

答 手嶋産業振興課長

新築または増設が趣旨だが、機械の機能強化についても検討する。3社ほど相談があったが適用には至っていない。

問 津川俊仁

雇用者数の維持でも対象になることを、どう周知するのか。

答 手嶋産業振興課長

商工会・HP・ケーブルテレビ以外も検討する。

一般会計補正予算

安全確保を

認定こども園・保育所

問 前田栄治

北条こども園の送迎時は、入り口が渋滞している。事故が心配だ。

答 田中教育総務課長

送迎用として20台分の駐車場を確保している。「右折車多し」の注意看板を来年度設置予定。

問 長谷川昭二

臨時職員に、クラス担任の責任を負わせるのは好ましくないのでは。

答 松本町長

一度に職員を増員することはできないが、改善していく。

問 津川俊仁

臨時保育士賃金が増額（1,800万円）、北条みどり保育園と広域入所の委託料が減額（1,900万円）なのは希望が集中したためか。

答 田中教育総務課長

主に北条こども園に0歳児の途中入所が多かったため。

北条みどり保育園と広域入所は、見込み誤り。途中入所者数（12月現在）公立4施設合計 50人

見込みが甘い

広域連合負担金

問 飯田正征

1市4町で出し合うからと、安易に予算計上しているのでは。

答 松本町長

連合も精査している。斎場費と消防費の減額は、入札の受差。

景観を大切に

レークサイド大栄

問 石丸美嗣

松くい虫の防除（伐採後の植栽計画）。

答 渡邊政策企画課長

コストの事も考えて植栽する。

委員長報告に疑問あり

地球温暖化対策の「地方財源を確保・充実」

問 長谷川昭二

委員会意見の「様々な総合的な施策」とはどういう意味か。

答 浜本教民委員長

「交付税を森林面積に応じて配分」という内容だが、地球温暖化防止のためには、森林保全以外にも様々な対策が必要。

【反対討論】

井上信一郎

温暖化対策を進める上では、森林だけでなく農地や再生可能エネルギーの活用推進も必要。森林面積に応じて交付税措置するのことに反対。

【賛成討論】

長谷川昭二

地球温暖化対策と共に、地方自治体が自然再生エネルギーの促進を図る上で有益と思われる。

【賛成議員】

長谷川・山下・前田栄

年金2.5%削減中止

問 長谷川昭二

年金額が少なくなるのは、逆に信頼できない国になるとのことでは。

答 浜本教民委員長

受給者にとって減額は大変だが、若い世代は負担だけが大きくなる。

問 山下昭夫

年金制度そのものについての検討はしたのか。

答 浜本教民委員長

委員会ではしていない。

【反対討論】

なし

【反対議員】

阪本・石丸・宮本
前田正・池田・浜本
津川・清水・井上
前田栄・飯田・奥田

【賛成討論】

長谷川昭二

年金生活者にとって欠かせない食料品や光熱水費、保険料が大幅に上がっている。しかし、消費者物価には反映されていない。これ以上の引き下げは、年金生活者の生存権を侵害するものである。

【賛成議員】

長谷川・山下

陳情件名	陳情者	採決	主な委員会意見
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟	不採択 賛成 3 反対 11	森林の保全整備も必要であるが、様々な総合的な施策が必要である。 →措置なし。
大栄小学校通学路の危険箇所及び学習環境等の改善についての陳情	大栄小学校PTA	採択 全会一致	学校教育関係の施設整備の充実が必要であり、関係機関と協力しながら危険箇所の改善に対処されたい。 →町長、教育委員長に送付。
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情	大栄中学校PTA 北条中学校PTA		
年金2.5%削減中止を求める陳情	全日本年金者組合鳥取県中部支部	不採択 賛成 2 反対 12	これからの世代にとって安心して生活できない国になってしまうため。 →措置なし。
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情	北条小学校PTA	採択 全会一致	学校教育関係の施設整備の充実が必要である。 →町長、教育委員長に送付。

不採決



不採決



浜本 武代

予防が大切

認知症

早期発見と予防

答「支援センターに相談を」

浜本

認知症の半分を占めるアルツハイマー型は予防ができる。もの忘れ相談プログラム（タッチパネル式の機械）を使って、早期発見をし、予防教室や治療で認知機能が改善されるが、具体的な予防の取り組みは。

町長

パネルは中部広域連合で5台所有している。本町でも、場面場所を考えた活用したい。町内に約700人の認知症サポーターを養成しており、具体的支援ができる人材を育成している。地域包括支援センターが認知症のケア、受診など様々な相談に対応している。



足におもりをつけて「こけない体づくり」

長谷川

長引く不況の中、保護者家庭の経済状況は悪化し困窮化が進んでいる。こうした状況から、全国各地で子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備と少子化・人口減対策として、給食費の助成が広がって

負担を軽く！



長谷川 昭二

給食費助成で

答「他市町と比べて高くない」

答「他の支援を充実」

子育て支援

町長

経済的理由で就学困難な場合は、給食費を始め、学用品などを支給している。給食費は、食材費のみで、平成21年度より据え置き、他市町と比べても高くない。今年度は、保育料の減額をするなど子育て支援をしており、新たな支援は考えていない。

教育委員長

就学援助費制度があり、困窮家庭への支援はされている。すべての保護者の負担軽減となる給食費助成の考えはない。病児保育や病後児保育、一時保育、休日保育、子育て支援センターの事業を継続したい。



町政

ここを問う

12月定例会では10人の議員が17問の一般質問を行いました



◎青山剛昌/小学館

学力向上が一番

結果分析と対応

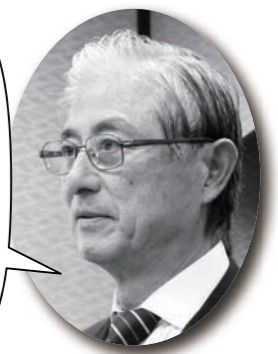
答「現在の施策を継続」

答「家庭学習のサポート」

池田

①教育行政は、何と言っても学力の向上である。新町になってからの7年間、全国学力テストの成績が悪い。町長の認識と目指す具体的目標は。②全国学力テストの結果分析と対応策、教育行政に対する取り組み姿勢は。

信頼したいが



池田 捷昭

町長

①十分に認識している。基礎基本の定着と、活用する力が身につく授業づくりや家庭学習の定着を図り、学力向上につなげていきたい。

教育委員長

②調査結果を学力向上のみならず、教育の充実に生かすため、まず、今以上に小中連携を強化していく。また、本町の子どもたちは家庭学習の時間が少ない傾向にあるので、家庭学習の推進を図っていく。家庭での学習環境づくりのサポートに、学校・家庭・行政がしっかりと考えて取り組みたい。



宿題をきちんとしよう



飯田 正征

やる気になれば

風力発電の利益を活用

全自治会に太陽光

答「自給率100%をめざす」

飯田

風力発電の収益を

もとの、太陽光や水力発電など自然エネルギーの導入を図り、町内の産業・家庭部門電力の自給率100%を目指しては。自治体公民館に太陽光発電を設置し、災害時の避難拠点として活用するほか、平時は売電金を自治会活動に充てる。庁舎や公共施設を太陽光発電に活用し、国内排出削減量認証制度も利用しては。

町長

新価格による増収は、

政策をとおして町民に還元したい。省エネルギー発電の導入を検討するなど、自然エネルギーの普及にも生かし、電力自給率100%達成を目指す。町内公共施設、各自治会への太陽光発電設置も検討し、災害時の拠点や自治会の活動資金としての活用を考える。町民ファンドや町民債の利用、CO₂排出権取引の活用もしていきたい。



町政マニマを問う

飯田正征議員・長谷川昭二議員

危険な空き家対策

条例の制定を

答「先進地も参考に」



飯田 正征

急いで急いで

町長

鳥取県は空き家率が高

飯田

空き家が急増して

いる。環境面、防犯上の危険もある。昨年、今年と陳情書も提出されている。解体など行政が代執行できる「空き家などの適切な管理に関する条例」を制定し対処すべき。

鳥取県は空き家率が高く、県や他市町村と情報交換し、協議する場として「鳥取県空き家対策協議会」が設置されることになった。今年度北栄町の空き屋状況は、報告を受けた33自治会で住宅163件、その他19件あり、まだ増えると考えられる。先進地も参考にしながら、条例制定に向け検討する。



放置されたままの火災工場

町政マニマを問う

飯田正征議員・宮本幸美議員

希望の館の今後

集客の努力を

答「関係者・専門家と相談」



宮本 幸美

現場に出かけて

宮本

町民の憩いと、ふ

れあいの場として整備された希望の館、浜の泉、特産物直売所があるが、希望の館は閉館状態である。用途変更して、この場に北条特販を移転、集客対策としては。

町長

様々な意見も含め

検討していきたい。今後の重要な課題として考えている。農業、農産物と観光の連携の中で、何らかの活用は考えていくべきと思う。まずは専門家や関係者に相談してみたい。



課題が多い希望の館

住宅リフォーム

仕事づくり重要

答「総合的視点で」



長谷川 昭二

仕事増やせ

長谷川

平成22・23年度に

実施された住宅リフォーム助成事業の経済効果について、どのように分析されたのか。884万円の助成額で122件、1億8,855万円のリフォームが行われたことは、単純計算では21倍の経済効果があったことに



なる。今の不況のもと、仕事を増やすことは非常に重要。ぜひ、再実施を求める。

町長

小さな投資で、大きな

経済効果を町内に生んだことになる。しかし、もともとリフォームを予定していたのか、助成がなかったらリフォームしなかったのかなど、このまま経済効果として把握してよいか不明である。検証をしてみても有効であれば、空き家情報バンクの活用とも関連づけ、町内業者を対象とした、総合的視点で検討したい。



奥田 伸行

早急に！

これからの農業振興

農家も経営感覚を！

答 「各種施策で応援」

答 「農業の数値化」

奥田

現在は農家も経営者としての感覚を持つ必要がある。今までは、施設や設備の充実に力を入れていたが、今後は情報提供や人材育成に重点を置くべきではないか。

- ① 経営者育成や後継者育成の取り組みは。
- ② 販売戦略は。
- ③ 新規就農者への農地確保は。
- ④ 「農業の見える化」は。

町長

① がんばる農家プラン事業等による支援や研修先のあっせんなどに取り組みたい。

- ② 引き続きトップセールスや*シテイセールスなどにより、販路拡大の為に支援を行いたい。
- ③ 後継者育成同様、就業支援給付金事業などにも取り組むたい。
- ④ 食品の安全性や品質の向上、農業経営の改善や効率化を図り、消費者の信頼確保につながることで、「見える化」が図れるものと考えている。

*まちの特色や魅力などを他の地域や企業に売り込むことで、知名度や高感度を上げていくこと。

農業委員長



濱坂農業委員長

- ① 事務局と担当地区の委員が経営などの相談、助言をしている。
- ② 委員会として取り組んでいるものはない。
- ③ 担当地区の農業委員に支援するよう要請している。
- ④ 農業の「見える化」を数値化すれば、農業の継続性や産地の信頼性が高まり、農業所得の安定につながるはず。



ウソは1回で



池田 捷昭

池田

① 議会には「全面リニューアル」、県には「一定期限の特別展示」と説明し、嘘をつかれた。客は計画の半分、町民債の償還がで

きず約1億円を一般会計から繰り入れた、実態は常設館である。② 砂丘地振興策との整合性は。



©青山剛昌/小学館

③ 施設が町民に理解されていない。職員2名分の人件費が一般会計で計上されている。毎年赤字が想定されるが。

町長

① 説明が不十分だった。3年ごとに計画を見直す、当面は青山剛昌氏関係の展示を続けることが有利と考える。集客は近年改善してきており、さらに必要な対策を行って、着実に償還したい。

② コナンファンに「北栄町のファン」になってもいい、農業・農産物の観光面での活用や、観光と農業の連携を拡大していきたい。

③ 企画員と主任は、ふるさと館以外の小学館とのやりとりなど、他の業務にも従事している。

オンリーワンの施設

しっかり予算を

答 「先手を打っていく」

奥田

青山剛昌ふるさと館は、世界で北栄町だけのオンリーワンの施設である。来年度以降も予算をしっかりとつけて、事業展開するべきである。

- ① まんが博の効果を、どう判断しているのか。過去3年間の推移は。
- ② イベント効果や外国人ツアー客の集客状況など、検証を受けての戦略は。

町長

情報発信、PRや展示品の充実や見直しなど、短期的な投資も先手を打って行っていく必要がある。必要な予算は計上したい。

① 効果はあった。収支が厳しい中ではあるが、入館者数は増加傾向にある。② 地元やファンと一体となった催事企画を行う。関西圏は重点的な情報発信・プロモーションを行うなど、*コンテンツビジネスも念頭に置き、キャラクターを幅広く活用できるようにしていきたい。

*映画・音楽・マンガなどの、制作・管理・提供にかかわるビジネス



©青山剛昌/小学館

やってみなよ



奥田 伸行



阪本 和俊

相乗効果で

前田寛治展

コナンとコラボ

「情報コーナーで発信」



阪本 我が町は日本を代表する画家である前田寛治の出身地である。町内には町が所蔵する5点のほか、個人的に多くの作品をお持ちの方もあるようだ。その人々にも協力してもらい、青山剛昌ふるさと館と連携した、特別展を開催するのはどうか。

町長 前田寛治作品展は、平成20年までに5回開催している。青山剛昌ふるさと館との連携は、情報コーナーに歴史民俗資料館の企画展情報を置き、地元文化芸術の発信の場とした。

保安林

植栽計画遅い

「早期完成を要望」



阪本 和俊

手を打たなければ

阪本 由良川河口から大谷に至る海岸線沿いの、飛砂防止保安林と防潮保安林は、管理されているように見えない。県の植栽計画は、平成29年度完成予定となっ

ており、町はそんな悠長な計画ではいいのか。由良・妻波の浜畑は強風で大きな被害も出る。リーダーの最大の使命は治山治水。その中に強風対策は含まれないのか。



淋しい保安林

町長 大谷から順次、植栽工、防風工などを設置している。保安林改良を行っている。県の保安林指定地区であり、早期完成に向け、強く要望していく。町としては、病害虫に強く、防風効果のあるイヌノキの植栽を個人や自治会などに支援していく。

事故が起きてからでは遅い

歩道の整備を

「早期設置に向け努力」



石丸 美嗣

危ない!!

石丸 六尾地区の歩道に、歩道が確保されていない箇所がある。交通量も多く、事故が起きてからの対応では遅すぎる。これまで町が対応してきた経緯と、今後の対策は。



由良川沿いの県道

町長 瀬戸から六尾間の歩道は、昭和62年の地籍調査の際、当該地権者と隣接地権者との境界が定まらず、用地買収ができないため未整備区間のままとなった。その後、再三にわたり協議してきたが、不調に終わり今日に至っている。現在、関係土地所有者の「安全確保のためなんとかしたい」との思いを聞き、一日も早い歩道設置にむけて、法務局と県土整備局で協議を重ねている。

観光分野の強化

ぶどう通りを

「幅広く検討」



宮本 幸美

もっと真剣に

町長 ①ぶどう通りも含め、幅広く検討したい。②法面の強度がおちるので、桜など樹木の設置については困難。③平成28年頃に円城寺川合流点までの由良川改修が進む予定である。その後、北条放水路合流点から上流に着手する予定。

宮本 大量生産、大量消費による経済成長時代から少子高齢化で人口減少の到来、町を取り巻く環境が大きく変化している。まんが博も終わり、集客が今後の課題である。経済波及効果の高い観光分野の強化を。

- ①コナン大橋からコナン館までの間に特産のぶどう通りを。②北条放水路周辺を整備し、桜並木で憩いの広場を。③米里地内の、北条川整備予定は。





前田 栄治

指摘を生かせ

監査指摘事項

しっかりと検討を

答「重く受け止めている」

前田

① 監査委員に決算

以外どんな仕事を期待しているか。
② 決算審査意見書をどのように平成25年度予算に反映させるのか。
③ 監査委員室を設置し、2人の監査委員に1カ月に数日の登庁を求め、職員の業務内容や物品購入などチェック体制の強化を図るべき。

町長

① 財務に関する事務執行及び事業管理の監査。

② 意見書は重く受け止めている。基本的には、次年度以降の予算に反映させる。
③ 室の設置は考えていない。監査委員は毎日でも監査・調査はできるので、独自で決めてやってほしい。報酬や方向性は、今後、監査委員と話し合い検討する。



山積みのはり紙をチェック

町政マミコを問う

前田栄治議員

財政運営

今後の方向は

答「公会計の導入」



山下 昭夫

借金くへん?

山下 将来の財政運営の方向を、どのように考えているのか。

① 一般会計(79億6千万円)から特別会計への繰り出し金は14.2%(11億3千万円)を占める。北栄町の※実質公債費比率は20.2%で、県内町村平均15.6%に

比べ著しく高い。今後どのようにするのが。
② 企業会計導入の考えは。

※1 自由になる財源の内、借金返済の割合
※2 公債費に充当された一般財源の額が、一般財源総額に占める割合

町長

① 実質公債費比率は21

年度から下がってきており、※2 公債費負担率も20年度から下がっている。特別会計への繰り出し金は、下水道整備の終了で、今後は横ばいになると予想している。
② 現在の会計処理には、単年度の収支しかわからないとか、いくら借金があるか帳簿上に載っていないなどの欠点がある。国、県の指導を受け、公会計を導入していく。



誠実に分納なら

助成の対象に

答「制限は必要」

制限やめて



長谷川 昭二

長谷川

町税等の滞納

を理由に減免措置や助成の対象からの除外が行われている。分納を誠実に履行している場合は、対象とする弾力的運用を行うべきではないか。特に、収入が減少して納税が困難になっている人の、減免措置を除外するのは矛盾している。

町長

町税の滞納がある場合

に減免しないのは、地方税法で滞納処分の※執行停止があるため。
税の公平な負担の観点からも、特定の方への減免や補助、助成には制限が必要である。分納は履行の保証がないので、完納後に補助申請をしていただきたい。
※ 滞納者の生活が著しく困難になる場合や、滞納処分の対象となる財産がない場合などに職権で行う納付緩和制度。



町政マミコを問う

山下昭夫議員・長谷川昭二議員

伝統を受け継ぐ 園児たち!!

瀬戸獅子舞(大誠こども園)



(5歳・すみれ組)

地域の伝統文化を大切に、慣れ親しんでいくため、瀬戸獅子舞保存会の方と交流を深めています。最初は怖くて泣いてしまった獅子にも、今ではすっかり慣れ、「年長さんになったら獅子を舞う」と小さい子達のあこがれになっているそうです。強そうな獅子舞のおかげで、今年も健康で素敵な年になりそうです！

子どもたちの感想

- ・頭(かしら)が重し！
- ・くねくねのポーズは楽しいよ。
- ・「うーん、うーん」がむかひっこい。

保護者の声

最近、獅子舞を見ることが少ないなか、自分達で踊る機会を与えていただき、良かったと思います。

北条砂丘太鼓(北条こども園)



(5歳 たいよう組おぼろ組)

年長児が北条砂丘太鼓に取り組んでいます。保存会の方にも教えてもらって、励まし合いながら一生懸命練習し、運動会などでみんなに見てもらったそうです。地域の伝統芸能を伝え、残していくことは大切な取り組みの一つだと思います。

子どもたちの感想

- ・太鼓をみんなと一緒にドンドン叩くところが面白い。

保護者の声

小学生の時に見た、鬼面の勇壮な姿を今でも覚えています。子ども達にこの太鼓が生まれた経緯や意味が伝えられ、自分が生まれ育っていく地元に、より親しんでくれるきっかけになればうれしいです。

知っとなる? こんな北栄

茶白山(昔話)



スケールの大きな、楽しい昔話ですね!

とく 国坂

むかしむかし、鷲峰山と大山が背比べをしました。負けた大山は悔しくて、大杓子で鷲峰山の頭を削り取って投げました。その時飛んで出てきたのが、茶白山と言われています。

種のとすけ(昔話)



～「鳥取の伝説」より～
ぜひ続きを読んでみてください。

とく 下種

下種に住む藤助さんの働き者のお嫁さんは、実は狐だったのです。ある時、正体がばれて山へ帰ってしまいました。藤助さんが困っていると、夜中に狐がやってきて……。

編集後記

議会をより知っていたため実施している出前座談会を、昨年は6自治会で開催しました。多くの参加をいただきました。ありがとうございます。今後はさらに多くの自治会に出向き、身近に感じていただける議会を目指します。議会の傍聴もお待ちしています。
井上 信一郎

発行責任者

議長 青龍 恵一

編集

広報広聴常任委員会
委員長 石丸 美嗣
副委員長 奥田 伸行
長谷川昭二
井上信一郎
前田 栄治
飯田 正征

表紙写真

成人式

「大人の責任」

1月30日撮影

